

2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年4月26日

上場会社名 株式会社グローバルダイニング 上場取引所 東
 コード番号 7625 URL <http://www.global-dining.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)長谷川 耕造
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員最高財務責任者 (氏名)中尾 慎太郎 (TEL)03-5469-3222
 四半期報告書提出予定日 2019年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	2,265	△3.0	△61	—	△49	—	△52	—
2018年12月期第1四半期	2,336	2.0	△93	—	△125	—	△128	—

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 △52百万円 (—%) 2018年12月期第1四半期 △170百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	△5.16	—
2018年12月期第1四半期	△12.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	6,826	3,834	55.9
2018年12月期	6,831	3,886	56.6

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 3,815百万円 2018年12月期 3,868百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,707	△3.7	△3	—	19	150.5	11	—	1.15
通期	9,634	△3.3	68	436.6	114	108.7	63	—	6.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年12月期 1 Q	10,225,400株	2018年12月期	10,225,400株
② 期末自己株式数	2019年12月期 1 Q	571株	2018年12月期	571株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年12月期 1 Q	10,224,829株	2018年12月期 1 Q	10,139,290株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されるものの、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の先行き、海外経済に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響などにより先行き不透明な状態で推移しました。

外食産業におきましても、消費マインドに持ち直しの動きがみられ、緩やかに上昇してきております。

こうした中、当社グループは「お客様に感動して頂き、そして社員も感動するための最高の舞台を提供します。」をミッションに掲げ、ミッションを実現するための商品・サービスおよび空間の品質向上を実施いたしました。健康志向・インバウンド層など多様化するマーケットに適応するメニューや業態の開発、人材の発掘と教育に力を入れサービスの向上や組織の基盤づくりに取り組みました。また、1月に収益改善の見込めない「ゼストキャンティーナ西麻布」を閉店いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、22億65百万円（前年同期比3.0%減）となり、当第1四半期連結累計期間末の総店舗数は48店舗となりました。

損益につきましては、営業損失は61百万円（前年同期は営業損失93百万円）、経常損失は49百万円（前年同期は経常損失1億25百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は52百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億28百万円）となりました。

報告セグメントについては、当社グループはレストラン経営を主とする飲食事業という単一セグメントでありますので、記載を省略しております。

売上高をコンセプト（営業形態）別にみると、「ラ・ボエム」は5億79百万円（前年同期比8.5%減）、「ゼスト」は71百万円（同18.7%減）、「モンズーンカフェ」は5億16百万円（同2.2%減）、「権八」は6億68百万円（同1.7%増）、「ディナーレストラン」は1億85百万円（同8.7%減）、「フードコロシウム」は43百万円（同3.8%増）、「その他」は2億円（同8.3%増）となりました。

既存店売上高につきましては、前年同期比1.2%の減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して4百万円減少し、68億26百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末と比較して97百万円増加し、10億37百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が1億64百万円増加した一方で、原材料及び貯蔵品が22百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して1億2百万円減少し、57億89百万円となりました。主な変動要因は、差入保証金が70百万円減少したことによるものであります。

流動負債は前連結会計年度末と比較して3億19百万円減少し、14億22百万円となりました。主な変動要因は、1年内返済予定の長期借入金が1億19百万円、支払手形及び買掛金が63百万円、未払金が69百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して3億67百万円増加し、15億70百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金が3億54百万円増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して52百万円減少し、38億34百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金が52百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年2月12日に公表いたしました「平成30年12月期 決算短信」の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	272,232	436,696
受取手形及び売掛金	330,940	311,470
商品及び製品	15,637	6,756
原材料及び貯蔵品	173,310	150,712
その他	147,453	131,749
流動資産合計	939,575	1,037,385
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,422,228	8,247,017
減価償却累計額	△6,230,614	△6,120,457
減損損失累計額	△567,720	△531,673
建物及び構築物(純額)	1,623,893	1,594,886
土地	2,642,885	2,642,819
その他	241,387	240,386
有形固定資産合計	4,508,166	4,478,092
無形固定資産	3,525	2,764
投資その他の資産		
差入保証金	1,355,350	1,285,350
その他	24,656	23,222
投資その他の資産合計	1,380,006	1,308,573
固定資産合計	5,891,698	5,789,431
資産合計	6,831,274	6,826,817

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	375,262	311,678
1年内返済予定の長期借入金	614,096	494,733
未払法人税等	41,514	20,801
引当金	518	15,000
その他	710,422	579,835
流動負債合計	1,741,814	1,422,048
固定負債		
長期借入金	613,623	968,561
退職給付に係る負債	39,972	41,730
資産除去債務	545,969	548,357
その他	3,389	11,696
固定負債合計	1,202,954	1,570,346
負債合計	2,944,768	2,992,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,485,443	1,485,443
資本剰余金	2,140,443	2,140,443
利益剰余金	387,459	334,674
自己株式	△320	△320
株主資本合計	4,013,026	3,960,240
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,931	4,092
為替換算調整勘定	△148,797	△148,916
その他の包括利益累計額合計	△144,866	△144,823
新株予約権	18,346	19,005
純資産合計	3,886,505	3,834,421
負債純資産合計	6,831,274	6,826,817

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
売上高	2,336,007	2,265,370
売上原価	2,184,791	2,082,672
売上総利益	151,216	182,698
販売費及び一般管理費	244,365	244,542
営業損失(△)	△93,149	△61,844
営業外収益		
協賛金収入	8,333	8,333
設備賃貸料	4,513	5,413
その他	3,507	5,659
営業外収益合計	16,354	19,406
営業外費用		
支払利息	3,160	3,231
固定資産除却損	385	3,033
その他	44,787	490
営業外費用合計	48,334	6,754
経常損失(△)	△125,129	△49,191
税金等調整前四半期純損失(△)	△125,129	△49,191
法人税、住民税及び事業税	3,998	3,863
法人税等調整額	△157	△269
法人税等合計	3,840	3,594
四半期純損失(△)	△128,970	△52,785
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△128,970	△52,785

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
四半期純損失(△)	△128,970	△52,785
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,063	160
為替換算調整勘定	△39,118	△118
その他の包括利益合計	△41,182	42
四半期包括利益	△170,153	△52,743
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△170,153	△52,743
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。